

平成30年第4回川崎市議会定例会

請願陳情文書表

(その2)

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
5 3	30. 12. 13	医療ツーリズムの健全な発展と地域医療の確保を求める意見書を国に提出すること等に関する請願	中原区 公益社団法人川崎市 医師会	山 崎 直 史 山 田 晴 彦 山 田 益 男	<p>1 地方自治法第99条に基づき国に対し、次の内容について意見書を提出してください。</p> <p>(1) 地域医療に影響する病床の開設が無秩序に申請・許可されることのないようにするため、病床規制に係る医療法の一部改正なども含め、必要な措置を講じること。</p> <p>(2) 医療ツーリズムが、健全に発展できるようにするため、国が責任をもって総合的な観点から国民的コンセンサスを形成し、ガイドラインなどのルールを構築すること。</p> <p>2 市に対する要望</p> <p>(1) 県と連携して、国に対して病床規制に係る医療法の一部改正等についての提言、要請等を行うこと。</p> <p>(2) 県と連携して、医療ツーリズムに関して現状の把握を行うとともに、必要な検討を進め、このため市民や医療関係団体及び学識者等を構成員とする検討組織を設置すること。</p> <p>(3) 一定のルールが確立するまで、特に医療ツーリズムを目的とした病床の開設許可については、最大限の慎重な対応をすること。</p>	健康福祉 委員会

受理番号	受理年月日	件名	請願提出者	紹介議員	要旨	付託委員会
54	30. 12. 17	川崎市中原消防団住吉分団市ノ坪班器具置場の跡地の活用に関する請願	中原区 市ノ坪本町会 ほか 5名	押本吉司 大庭裕子	<p>中原消防団住吉分団市ノ坪班の器具置場は、昨年、木月4丁目への移転・新設の方向性が示されました。</p> <p>この器具置場は、地理的な立地条件や密集市街地において限られた有益な土地であり、町会コミュニティの中心的な役割を担う場所ということからも地域課題となっている防災倉庫兼町内会館用地として活用されることが多くの地域住民の望みであります。</p> <p>地域課題や行政ニーズを把握し、関係部局と協議を行った上で、跡地の活用が積極的に図られるよう土地の所有者である東海旅客鉄道株式会社に対して交渉を行ってください。</p>	文教委員会

陳 情 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
136	30. 12. 6	国に私学助成の拡充を 求める意見書の提出を 求める陳情	横浜市中区 神奈川私学助成をすすめる会	<p>未来を担う子どもたちのために教育予算を増額し、私学に通う生徒・保護者の学費負担が軽減されるよう、私立高校生への就学支援金を拡充させる議論が求められます。同時に、私学教育本来の良さを一層発揮させる教育条件の維持・向上を図るために、私立高校生への就学支援金制度と私学への經常費助成補助の大幅拡充は当然の方向であり強く求められるところです。</p> <p>私たちは、貴議会に対して、憲法、教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づいて、私学助成の一層の充実を図るよう、国に対し、地方自治法第99条に基づき「公私の学費格差を更に改善し、全ての子どもたちに学ぶ権利を保障するため、私学助成の一層の増額を要望する」意見書の提出について陳情いたします。</p>	文教委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
137	30. 12. 6	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	横浜市中区桜木町3-9 神奈川私学助成をすすめる会	<p>県の私立学校への生徒一人当たりの経常費補助金は、全国でも数少ない国基準以下であり、全ての校種で全国最下位水準の助成額です。また、施設設備助成が県にはなく、全て保護者の負担となっており、これも高学費の要因の一つとなっています。</p> <p>教育の無償化を進めることで、全ての子どもたちの学ぶ権利を保障することが重要であると考えています。そして県においては、私学助成の抜本的な改善によって、私学経営の安定を図り、保護者の学費負担を軽減することが県政の急務と考えます。</p> <p>私たちは、貴議会に対して、憲法、教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づいて、私学助成の一層の充実を図るよう、県知事に対し、地方自治法第99条に基づき「平成31年度予算において私学助成の拡充を求める」意見書の提出について陳情いたします。</p>	文教委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
138	30. 12. 17	「鷺沼駅周辺再整備に伴う公共機能の検討」について、宮前区民の合意無く宮前区役所・市民館・図書館の拙速な移転は行わないよう求める陳情	宮前区 在住者 ほか 1,049名	<p>宮前区では、今年2月に「鷺沼駅周辺再整備に伴う公共機能に関する考え方」が市から示され、現区役所等の移転を含めた鷺沼駅再整備に伴う公共機能に関する検討が進められてきました。</p> <p>区役所等の移転に関する検討が行われていることを知る区民は、まだ一部にとどまっています。また、鷺沼駅前再開発事業によって整備される建物の規模などの全体像を明らかにしないまま、区民に公共施設の移転を判断させるのは無理があります。</p> <p>ところが、市は来年2月までに移転等について「基本方針(案)」を示すとしています。</p> <p>「区役所などの移転問題」を知った区民からは、拙速に結論を出すことに反対する声が上がっています。</p> <p>このような状況で、宮前区民の合意なく市民生活に深く関わる区役所・市民館・図書館の移転は行わないでください。</p>	文教委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
139	30. 12. 17	ゆきとどいた教育と安全安心な給食を求める陳情	幸区 ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会 ほか 7,378名	<ol style="list-style-type: none"> 1 国の責任で35人以下学級を中学校3年生まで実施するよう、意見書を提出すること。 2 当面、市独自で、小学校3年生と中学校1年生の全ての学級を35人以下学級にすること。 3 全ての小中学校に栄養士を配置し、アレルギー対策などを進め、安全・安心な給食を実現すること。 4 給食費の徴収業務は、市が行い、教員が本来の業務に専念できるようにすること。 	文教委員会